

研修報告

政進クラブ 福井加代子

《研修、視察日程》

視察月日	研修先	視察施設	研修内容
令和8年 2月17日 (火)	農林水産省農村振興局	参議院会館 会議室	農村整備の実績と現状から、今後の課題と展開方法について
令和8年 2月18日 (水) AM	総務省自治財政局交付税課	参議院会館 会議室	普通交付税の概要について 普通交付税算定方法の改正について
令和8年 2月18日 (水) PM	国土交通省道路局企画課	参議院会館 会議室	安来市内の国土交通省事業 (スマートインターチェンジ他)について 中海・宍道湖8の字ネットワークについて
令和8年 2月19日 (木)	東京都新宿区 東日本税理士事務所	—	酒田市病院機構の先進事例について 大月市立中央病院の先進事例について

《考察》

1, 農地整備をめぐる事情について

農地整備事業は農林水産省が進めている事業で、安来市においても重要な農業政策の一つに位置付けられる。農地整備事業、農地の大区画化、農地の汎用性を十分に引き出し、農業が抱えている高齢化などの問題による生産人口の減少や、これから進められるスマート農業などに対応できる環境を整備していく重要な事業であると考えている。事業を実施することで、農業者を中心とした多様な関係者が地域の農業農村の将来像を見通し、地域農業の発展をはかるため、十分な合意形成や調整を行いながら進めることで、農村協働力も強化されていく特性も有していると理解しました。

安来市は県内でも進んでいる地域であり、持続可能な地域形成のためにも引き続き、注力しなければならないと考えます。

2、普通交付税の概要について

国税は現在、非常に好調であり、地方交付税は地方公共団体間の財源を調整して、どの地域に住む国民にも行政サービスを提供できるよう財源を保障するためのもので、地方の固有財産である。

そして、この計算の測定単位となるのは、5年ごとに行われる国勢調査。普通交付税の算定基礎となる「人口」は令和7年国勢調査の人口を用いる。国勢調査は様々な行政施策の基礎資料となることは知っていたが、この普通交付税の算定基礎となることまでは知らず、改めて国勢調査の重要性を感じた。計算の基礎は自治体などに可能な限り、情報開示に努めているということや公立病院などへは物価高対応の財源交付もしている。そして、今年、診察報酬も少し上がるなどの措置が取られることも分かり、勉強になったが、一方で、税のことは難しいと感じた。

3、道路整備の重要性についての考察

公共事業関係費については平成27、28年位から6.1兆円で横ばい、令和8年度予算は少し増える。

令和7年6月に閣議決定された「第一次国土強靱化実施中期計画は、令和8年度から5年計画で20兆円強を投じる。初年度は令和7年度補正予算から必要な額を措置する。

この対策は防災インフラの整備、管理、ライフラインの強靱化、地域における防災力の強化などについて更なる推進を図るという国の予算の説明を受けた。

次に安来周辺の事業の状況説明として安来道路は安来から米子西の間、全てを4車線化する工事が現在始まっている。ここは平成22年の豪雪で41時間20分立往生が発生したということでこの事業を採択したということであった。

スマートインターチェンジについてはその経済に与える効果を重要視、整備効果はアクセシビリティ向上によるまちづくりの支援、産業活性化の支援が期待されるということ、また安来市長をはじめとして安来市の強い熱意によって採択となった。

それから一般国道9号安来電線共同溝事業は令和7年度に調査設計、工事等を推進する。安来駅を中心とした場所は安心歩行エリアに指定されており、無電柱化することで安全で快適な歩行空間の確保、震災時における緊急輸送道路の確保、そして良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するとのこと。国の予算から地元安来の事業の概要など多岐にわたって分かりやすく説明を受けた。

4、病院改革と独立行政法人化について

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の先進事例の講演を聞く中で、痛切に感じたのは、栗谷先生、当時の山形県知事、そして監査法人長隆事務所の長先生、この3人のつながりと時代の後押しがなければ、この病院は存在しなかったということです。この成功がどこにも当てはまるものではないと考えるが、様々な場面での道しるべになり、さらにアドバイスも頂

きながら、安来市立病院も一つずつ問題を解決していかなければならない。地域医療を守るといふ大きな義務を果たせるよう、議会も応援していかなければならない。そして、市民への説明責任もあると強く感じた。

以上